●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	・投資信託証券（上場投資信託証券）の投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は、行いません。 ・外貨建資産への直接投資は、行いません。
分配方針	・分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ・原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

auAM かんたん投資専用ファンド(株式重視型)
auAM かんたん投資専用ファンド(株式シフト型)
auAM かんたん投資専用ファンド(債券シフト型)
auAM かんたん投資専用ファンド(債券重視型)

運 用 報 告 書（全体版）

第２期

（決算日 2024年12月10日）

（作成対象期間 2023年12月12日～2024年12月10日）

受益者の皆様へ

平素より格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本を含む全世界の株式および投資適格債券へ分散投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を目指しております。当期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

auアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区西神田三丁目2番1号

ホームページ

https://www.kddi-am.com/

お問い合わせ先 03-5657-7185

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

＜5001＞＜5002＞＜5003＞＜5004＞

auAM かんたん投資専用ファンド（株式重視型）

■設定以来の運用実績

決　算　期	基　準　価　額			投資信託受益証券組入比率	純資産総　額
	（分配落）	税引前分配金	期　中騰落率		
（設　定　日）	円	円	%	%	百万円
2022年12月21日	10,000	－	－	－	1
１期（2023年12月11日）	12,050	0	20.5	97.4	17
２期（2024年12月10日）	15,080	0	25.1	97.7	31

（注１）設定日の基準価額は、設定時の価額です。また、期中騰落率は、各期末の基準価額（税引前分配金含む）を設定日の基準価額で除して算出したものです。
（注２）設定日の純資産は、設定元本を表示しております。
（注３）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

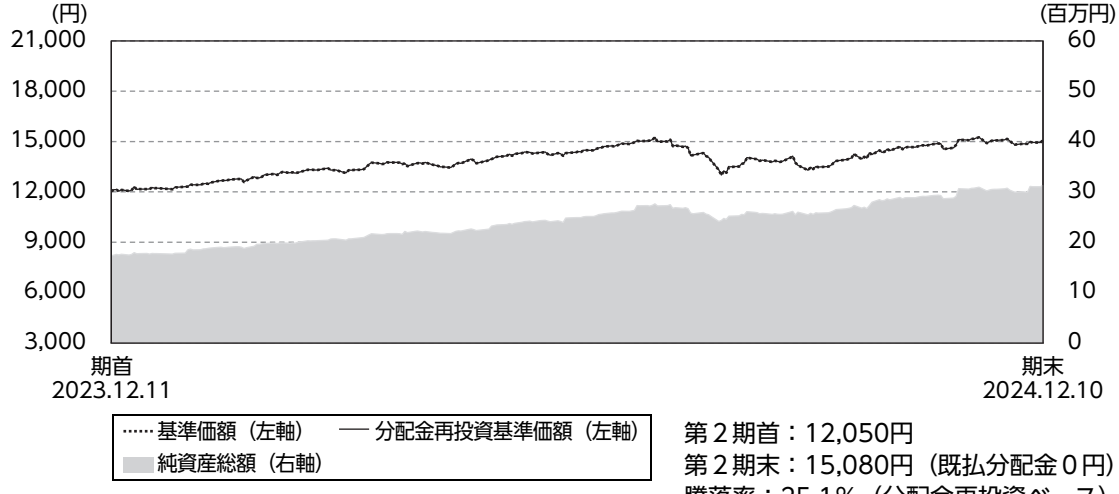
■当期中の基準価額と市況等の推移

年　月　日	基　準　価　額		投資信託受益証券組入比率
		騰落率	
	円	%	%
（期　首）2023年12月11日	12,050	－	97.4
12月末	12,225	1.5	95.7
2024年１月末	12,769	6.0	96.3
２月末	13,299	10.4	96.7
３月末	13,755	14.1	96.0
４月末	13,958	15.8	96.5
５月末	14,188	17.7	95.9
６月末	14,876	23.5	96.2
７月末	14,144	17.4	97.5
８月末	13,828	14.8	98.3
９月末	13,958	15.8	96.7
10月末	14,872	23.4	97.6
11月末	14,818	23.0	97.1
（期　末）2024年12月10日	15,080	25.1	97.7

（注１）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
（注２）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■運用経過

□基準価額等の推移について



第２期首：12,050円
第２期末：15,080円（既払分配金０円）
騰落率：25.1％（分配金再投資ベース）

（注１）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などにより課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

□基準価額の主な変動要因

当ファンドは主に上場投資信託証券（ETF）（以下、総称して「投資先ファンド」といいます。）を通じて、実質的に日本を含む全世界の株式および投資適格債券へ投資しました。基準価額は投資先ファンドの価格変動の影響を受けます。また、実質的に保有する外貨建て資産の一部について為替ヘッジを行っていないため、為替相場の影響も受けます。当期は国内外の株式市場の上昇と為替市場が対米ドルで円安に推移した結果、基準価額は期首の12,050円から15,080円に上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

□投資環境について　（2023年12月12日～2024年12月10日）

＜株式市況＞

主要国の株式市況は、期初は世界的に長期金利が大きく低下したことを受けて、投資家のリスク選好姿勢が強まったことなどから先進国株式市場は大きく上昇しました。2024年以降も米経済のソフトランディング期待や米企業の好決算により上昇基調で推移しました。４月の中東情勢をめぐる地政学リスクの拡大時には一時的に下落するも、米国株は７月中旬まで堅調に推移しました。８月には予想外の経済指標の悪化により米景気後退懸念が高まり、主要国で株式市場は大幅に下落しましたが、その後は良好な米景気指標などを受けて反発上昇しました。11月に入ると次期トランプ政権の経済政策への期待も高まり、米国株は大きく上昇しました。一方、欧州株はトランプ氏の掲げる関税引き上げが欧州及び中国経済に与える悪影響を懸念し、月半ばにかけて下落しました。その後月末にかけてはECBの利下げへの期待などで持ち直す動きとなりました。12月以降は主要国の株式市場は堅調に推移しました。

＜債券市場＞

期初は米国においてはFRBが政策金利を据え置いたことや､雇用やインフレ関連指標が市場予想を下回る結果であったことなどから金利は低下しました。その他の国についても、米金利に連れる形で金利は低下しました。2024年以降は米国では、経済指標が市場予想を上振れたことなどを背景に上昇しました。８月には米雇用統計が予想を下回ると、米景気後退懸念により同国の利下げが早まるとの見方から米金利は大幅に低下し、その他の国も同様に低下しました。11月にはトランプ氏当選直後に米金利は上昇しましたが、次期財務長官指名後は経済政策運営に対する安心感から低下に転じました。欧州中央銀行（ECB）による12月の理事会での追加利下げ期待と、米長期金利の変動等の綱引きとなり、ドイツの長期金利は下落しました。一方、日本の長期金利は、米長期金利の上昇などの影響を受けて上昇しました。

＜為替市場＞

為替市場では円安が進行しました。2024年以降は米国金利の上昇を背景に日米金利差の拡大が意識されたことや、日銀の副総裁がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する見通しと発言したことなどから円安となりました。７月以降は政府日銀による介入観測や、米国金利の大幅な低下により日米金利差の縮小が意識されたことなどから円高となりましたが、10月以降は米国の金利上昇や日銀の利上げを急がない姿勢などを受けて円安が進行しました。

□ポートフォリオについて

当ファンドは、投資先ファンドへの投資を通じて、実質的に日本を含むグローバルの株式および投資適格債券に分散投資（各資産の基本配分は株式80％、債券20％）を行っています。当期は、概ね基本配分に沿うかたちで投資先ファンドへの組入比率を高位に維持しました。

□ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

□分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

＜分配原資の内訳（１万口当り）＞

項目	当期 2023年12月12日～2024年12月10日
当期分配金（税引前）（円）	0
（対基準価額比率）（％）	(0.00)
当期の収益（円）	－
当期の収益以外（円）	－
翌期繰越分配対象額（円）	5,080

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■今後の運用方針

引き続き、投資対象ファンドを通じて、実質的に日本を含むグローバルの株式および投資適格債券に分散投資を行なうことにより、投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。

■１万口当りの費用の明細

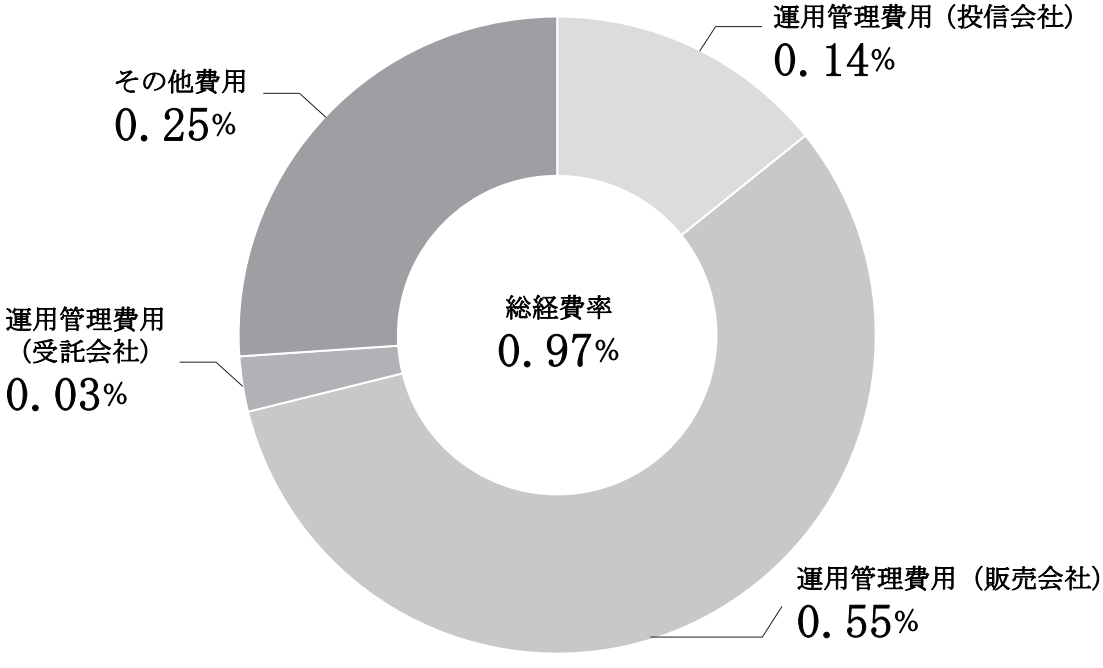
項目	当期（2023.12.12～2024.12.10） 金額（円）	比率（%）	項目の概要
運用管理費用（信託報酬）	**99円**	**0.713%**	運用管理費用（信託報酬）＝当期中の平均基準価額×信託報酬率 **当期中の平均基準価額は13,875円です。**
（投信会社）	（ 19）	（ 0.137）	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	（ 76）	（ 0.548）	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	（ 4）	（ 0.027）	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	**8**	**0.056**	売買委託手数料＝当期中の売買委託手数料／当期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資証券）	（ 8）	（ 0.056）	
有価証券取引税	**－**	**－**	有価証券取引税＝当期中の有価証券取引税／当期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	**35**	**0.251**	その他費用＝当期中のその他費用／当期中の平均受益権口数
（保管費用）	（ 30）	（ 0.217）	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	（ 1）	（ 0.009）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	（ 3）	（ 0.025）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	**142**	**1.020**	

（注１）当期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

（参考情報）

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.97%です。**



（注１）１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2023年12月12日から2024年12月10日まで）

銘柄名		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル
	VANGUARD TOTAL BOND MARKET	0.105	7	－	－
	VANGUARD TOT WORLD STK ETF	0.387	43	－	－
	VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF	0.155	7	－	－

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2023年12月12日から2024年12月10日まで）

当期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

■自社による当ファンドの設定・解約状況（2023年12月12日から2024年12月10日まで）

設定時保有額	当期設定	当期解約	期末残高	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
1	－	－	10	当初設定及び追加設定における取得

（注）金額は元本ベース。

■組入資産明細表

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘柄		当期末			
		口数	評価額		比率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
（アメリカ）		千口	千アメリカ・ドル	千円	%
VANGUARD TOTAL BOND MARKET		0.241	17	2,683	8.6
VANGUARD TOT WORLD STK ETF		1.333	163	24,809	79.3
VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF		0.401	20	3,073	9.8
合計	口数、金額	1.975	201	30,566	
	銘柄数＜比率＞	３銘柄			＜97.7%＞

（注１）邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
（注２）＜　＞は純資産総額に対する各国別投資信託受益証券、投資証券評価額の比率。
（注３）評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月10日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	30,566	97.2
コール・ローン等、その他	869	2.8
投資信託財産総額	31,436	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。
（注２）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
　　なお、当期末における邦貨換算レートは、１アメリカ・ドル＝151.54円です。
（注３）当期末における外貨建資産（30,961千円）の投資信託財産総額（31,436千円）に対する比率は、98.5%です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2024年12月10日現在

項　目	当期末
(A) 資産	31,436,250円
コール・ローン等	869,311
投資信託受益証券（評価額）	30,566,939
(B) 負債	139,121
未払解約金	40,694
未払信託報酬	97,181
その他未払費用	1,246
(C) 純資産総額（Ａ－Ｂ）	31,297,129
元本	20,753,666
次期繰越損益金	10,543,463
(D) 受益権総口数	20,753,666口
１万口当たり基準価額（Ｃ／Ｄ）	15,080円

（注１）期首における元本額は14,377,586円、当期中における追加設定元本額は9,690,956円、同解約元本額は3,314,876円です。
（注２）当期末の計算口数当りの純資産額は15,080円です。

■損益の状況

当期　自2023年12月12日　至2024年12月10日

項　目	当期
(A) 配当等収益	450,491円
受取配当金	439,028
受取利息	11,463
(B) 有価証券売買損益	4,439,830
売買益	4,720,799
売買損	△　280,969
(C) 信託報酬等	△　231,440
(D) 当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	4,658,881
(E) 前期繰越損益金	1,416,126
(F) 追加信託差損益金	4,468,456
（配当等相当額）	(　1,282,118)
（売買損益相当額）	(　3,186,338)
(G) 合計（Ｄ＋Ｅ＋Ｆ）	10,543,463
次期繰越損益金（Ｇ）	10,543,463
追加信託差損益金	4,468,456
（配当等相当額）	(　1,282,118)
（売買損益相当額）	(　3,186,338)
分配準備積立金	6,075,007

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「分配金の計算過程」をご参照ください。

分配金の計算過程

項　目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	429,175円
(b) 経費控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益	4,229,706円
(c) 収益調整金	4,468,456円
(d) 分配準備積立金	1,416,126円
(e) 分配対象額（a＋b＋c＋d）	10,543,463円
(f) 分配対象額（１万口当たり）	5,080.29円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金（１万口当たり）	0円

■お知らせ

該当事項はございません。

auAM かんたん投資専用ファンド（株式シフト型）

■設定以来の運用実績

決　算　期	基　準　価　額			投資信託受益証券組入比率	純資産総　額
	（分配落）	税引前分配金	期　中騰落率		
（設　定　日）	円	円	%	%	百万円
2022年12月21日	10,000	－	－	－	1
１期（2023年12月11日）	11,732	0	17.3	96.6	24
２期（2024年12月10日）	14,187	0	20.9	97.8	46

（注１）設定日の基準価額は、設定時の価額です。また、期中騰落率は、各期末の基準価額（税引前分配金含む）を設定日の基準価額で除して算出したものです。
（注２）設定日の純資産は、設定元本を表示しております。
（注３）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

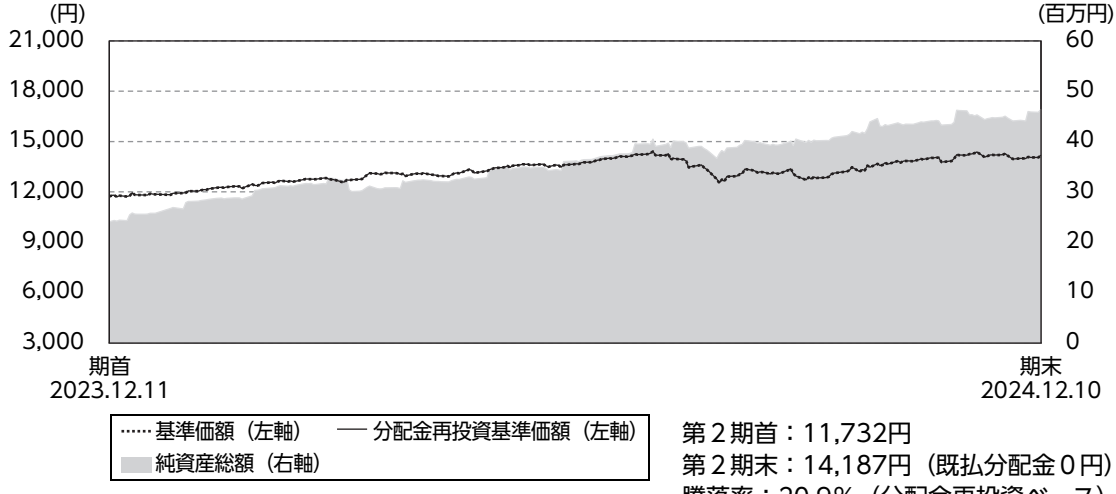
■当期中の基準価額と市況等の推移

年　月　日	基　準　価　額		投資信託受益証券組入比率
		騰落率	
	円	%	%
（期　首）2023年12月11日	11,732	－	96.6
12月末	11,857	1.1	98.7
2024年１月末	12,333	5.1	95.6
２月末	12,753	8.7	97.2
３月末	13,129	11.9	98.1
４月末	13,335	13.7	97.1
５月末	13,499	15.1	99.5
６月末	14,120	20.4	97.6
７月末	13,454	14.7	97.9
８月末	13,120	11.8	97.3
９月末	13,208	12.6	96.0
10月末	14,038	19.7	97.8
11月末	13,962	19.0	99.0
（期　末）2024年12月10日	14,187	20.9	97.8

（注１）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
（注２）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■運用経過

□基準価額等の推移について



第２期首：11,732円
第２期末：14,187円（既払分配金０円）
騰落率：20.9％（分配金再投資ベース）

（注１）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などにより課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

□基準価額の主な変動要因

当ファンドは主に上場投資信託証券（ETF）（以下、総称して「投資先ファンド」といいます。）を通じて、実質的に日本を含む全世界の株式および投資適格債券へ投資しました。基準価額は投資先ファンドの価格変動の影響を受けます。また、実質的に保有する外貨建て資産の一部について為替ヘッジを行っていないため、為替相場の影響も受けます。当期は国内外の株式市場の上昇と為替市場が対米ドルで円安に推移した結果、基準価額は期首の11,732円から14,187円に上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

□投資環境について　（2023年12月12日～2024年12月10日）

＜株式市況＞

主要国の株式市況は、期初は世界的に長期金利が大きく低下したことを受けて、投資家のリスク選好姿勢が強まったことなどから先進国株式市場は大きく上昇しました。2024年以降も米経済のソフトランディング期待や米企業の好決算により上昇基調で推移しました。４月の中東情勢をめぐる地政学リスクの拡大時には一時的に下落するも、米国株は７月中旬まで堅調に推移しました。８月には予想外の経済指標の悪化により米景気後退懸念が高まり、主要国で株式市場は大幅に下落しましたが、その後は良好な米景気指標などを受けて反発上昇しました。11月に入ると次期トランプ政権の経済政策への期待も高まり、米国株は大きく上昇しました。一方、欧州株はトランプ氏の掲げる関税引き上げが欧州及び中国経済に与える悪影響を懸念し、月半ばにかけて下落しました。その後月末にかけてはECBの利下げへの期待などで持ち直す動きとなりました。12月以降は主要国の株式市場は堅調に推移しました。

＜債券市場＞

期初は米国においてはFRBが政策金利を据え置いたことや､雇用やインフレ関連指標が市場予想を下回る結果であったことなどから金利は低下しました。その他の国についても、米金利に連れる形で金利は低下しました。2024年以降は米国では、経済指標が市場予想を上振れたことなどを背景に上昇しました。８月には米雇用統計が予想を下回ると、米景気後退懸念により同国の利下げが早まるとの見方から米金利は大幅に低下し、その他の国も同様に低下しました。11月にはトランプ氏当選直後に米金利は上昇しましたが、次期財務長官指名後は経済政策運営に対する安心感から低下に転じました。欧州中央銀行（ECB）による12月の理事会での追加利下げ期待と、米長期金利の変動等の綱引きとなり、ドイツの長期金利は下落しました。一方、日本の長期金利は、米長期金利の上昇などの影響を受けて上昇しました。

＜為替市場＞

為替市場では円安が進行しました。2024年以降は米国金利の上昇を背景に日米金利差の拡大が意識されたことや、日銀の副総裁がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する見通しと発言したことなどから円安となりました。７月以降は政府日銀による介入観測や、米国金利の大幅な低下により日米金利差の縮小が意識されたことなどから円高となりましたが、10月以降は米国の金利上昇や日銀の利上げを急がない姿勢などを受けて円安が進行しました。

□ポートフォリオについて

当ファンドは、投資先ファンドへの投資を通じて、実質的に日本を含むグローバルの株式および投資適格債券に分散投資（各資産の基本配分は株式60％、債券40％）を行っています。当期は、概ね基本配分に沿うかたちで投資先ファンドへの組入比率を高位に維持しました。

□ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

□分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

＜分配原資の内訳（１万口当り）＞

項目	当期 2023年12月12日～2024年12月10日
当期分配金（税引前）（円）	0
（対基準価額比率）（％）	(0.00)
当期の収益（円）	－
当期の収益以外（円）	－
翌期繰越分配対象額（円）	4,187

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■今後の運用方針

引き続き、投資対象ファンドを通じて、実質的に日本を含むグローバルの株式および投資適格債券に分散投資を行なうことにより、投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。

■１万口当りの費用の明細

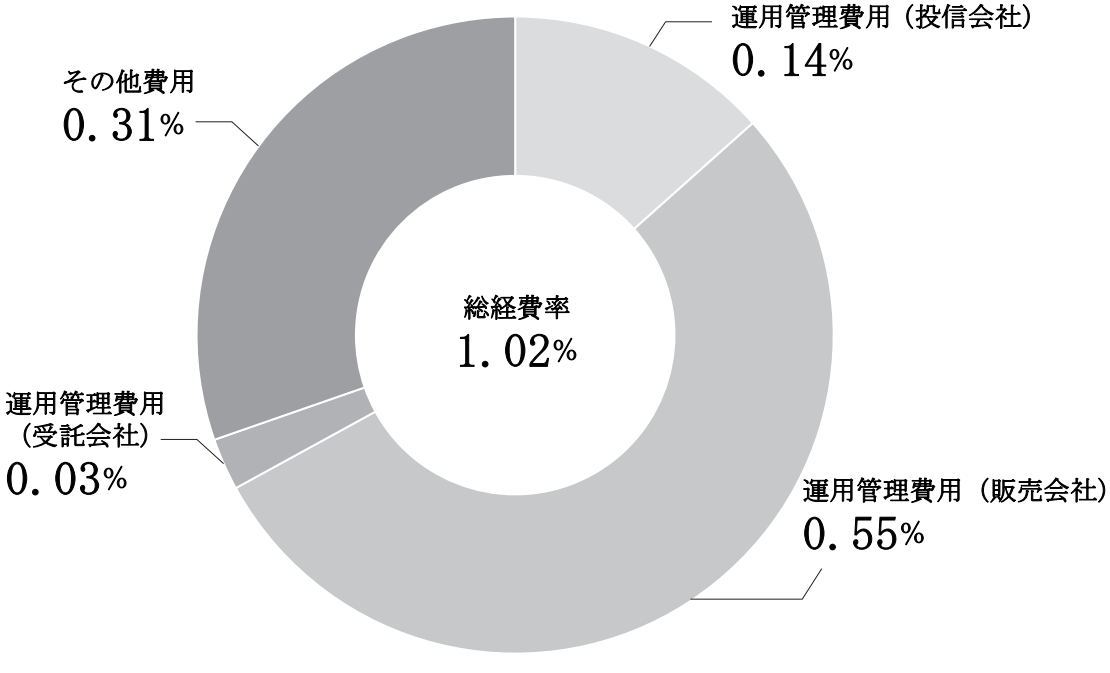
項目	当期（2023.12.12～2024.12.10） 金額（円）	比率（%）	項目の概要
運用管理費用（信託報酬）	**94円**	**0.713%**	運用管理費用（信託報酬）＝当期中の平均基準価額×信託報酬率 **当期中の平均基準価額は13,225円です。**
（投信会社）	（ 18）	（ 0.137）	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	（ 73）	（ 0.548）	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	（ 4）	（ 0.027）	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	**14**	**0.107**	売買委託手数料＝当期中の売買委託手数料／当期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資証券）	（ 14）	（ 0.107）	
有価証券取引税	**0**	**0.000**	有価証券取引税＝当期中の有価証券取引税／当期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資証券）	（ 0）	（ 0.000）	
その他費用	**41**	**0.310**	その他費用＝当期中のその他費用／当期中の平均受益権口数
（保管費用）	（ 38）	（ 0.284）	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	（ 1）	（ 0.009）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	（ 2）	（ 0.017）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	**149**	**1.130**	

（注１）当期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

（参考情報）

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.02%です。**



（注１）１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2023年12月12日から2024年12月10日まで）

銘柄名		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル
	VANGUARD TOTAL BOND MARKET	0.377	27	0.02	1
	VANGUARD TOT WORLD STK ETF	0.721	79	0.23	26
	VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF	0.62	30	0.06	2

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2023年12月12日から2024年12月10日まで）

当期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

■自社による当ファンドの設定・解約状況（2023年12月12日から2024年12月10日まで）

設定時保有額	当期設定	当期解約	期末残高	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
1	－	－	10	当初設定及び追加設定における取得

（注）金額は元本ベース。

■組入資産明細表

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘柄		当期末			
		口数	評価額		比率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
（アメリカ）		千口	千アメリカ・ドル	千円	%
VANGUARD TOTAL BOND MARKET		0.724	53	8,062	17.4
VANGUARD TOT WORLD STK ETF		1.475	181	27,452	59.2
VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF		1.279	64	9,801	21.2
合計	口数、金額	3.478	299	45,317	
	銘柄数＜比率＞	３銘柄			＜97.8%＞

（注１）邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
（注２）＜　＞は純資産総額に対する各国別投資信託受益証券、投資証券評価額の比率。
（注３）評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月10日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	45,317	97.4
コール・ローン等、その他	1,228	2.6
投資信託財産総額	46,545	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。
（注２）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
　　なお、当期末における邦貨換算レートは、１アメリカ・ドル＝151.54円です。
（注３）当期末における外貨建資産（45,896千円）の投資信託財産総額（46,545千円）に対する比率は、98.6%です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2024年12月10日現在

項　目	当期末
(A) 資産	**46,545,806円**
コール・ローン等	1,228,483
投資信託受益証券（評価額）	45,317,323
(B) 負債	**205,919**
未払解約金	58,051
未払信託報酬	145,951
その他未払費用	1,917
(C) 純資産総額（A－B）	**46,339,887**
元本	32,663,528
次期繰越損益金	13,676,359
(D) 受益権総口数	**32,663,528口**
１万口当たり基準価額（C／D）	**14,187円**

（注１）期首における元本額は20,496,716円、当期中における追加設定元本額は24,085,579円、同解約元本額は11,918,767円です。
（注２）当期末の計算口数当りの純資産額は14,187円です。

■損益の状況

当期　自2023年12月12日　至2024年12月10日

項　目	当期
(A) 配当等収益	**699,961円**
受取配当金	687,140
受取利息	12,822
支払利息	△ 1
(B) 有価証券売買損益	**4,776,634**
売買益	5,549,672
売買損	△ 773,038
(C) 信託報酬等	**△ 366,144**
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	**5,110,451**
(E) 前期繰越損益金	**1,121,397**
(F) 追加信託差損益金	**7,444,511**
（配当等相当額）	（ 2,165,302）
（売買損益相当額）	（ 5,279,209）
(G) 合計（D＋E＋F）	**13,676,359**
次期繰越損益金（G）	**13,676,359**
追加信託差損益金	7,444,511
（配当等相当額）	（ 2,165,302）
（売買損益相当額）	（ 5,279,209）
分配準備積立金	6,231,848

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「分配金の計算過程」をご参照ください。

分配金の計算過程

項　目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	653,168円
(b) 経費控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益	4,457,283円
(c) 収益調整金	7,444,511円
(d) 分配準備積立金	1,121,397円
(e) 分配対象額（a＋b＋c＋d）	13,676,359円
(f) 分配対象額（１万口当たり）	4,187.04円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金（１万口当たり）	0円

■お知らせ

該当事項はございません。

auAM かんたん投資専用ファンド（債券シフト型）

■設定以来の運用実績

決　算　期	基　準　価　額			投資信託受益証券組入比率	純資産総　額
	（分配落）	税引前分配金	期　中騰落率		
（設　定　日）	円	円	%	%	百万円
2022年12月21日	10,000	－	－	－	1
１期（2023年12月11日）	11,431	0	14.3	97.8	23
２期（2024年12月10日）	13,394	0	17.2	97.8	50

（注１）設定日の基準価額は、設定時の価額です。また、期中騰落率は、各期末の基準価額（税引前分配金含む）を設定日の基準価額で除して算出したものです。
（注２）設定日の純資産は、設定元本を表示しております。
（注３）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

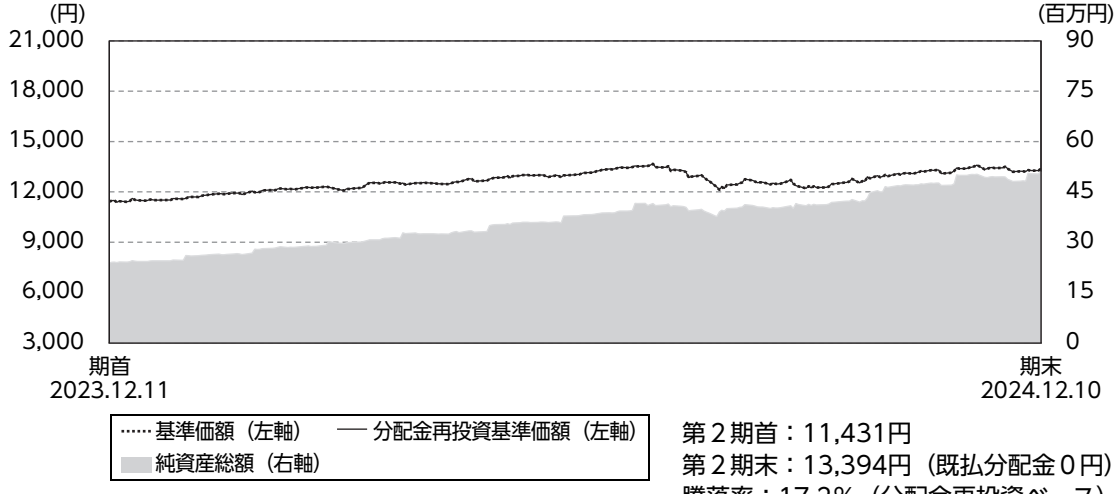
■当期中の基準価額と市況等の推移

年　月　日	基　準　価　額		投資信託受益証券組入比率
		騰落率	
	円	%	%
（期　首）2023年12月11日	11,431	－	97.8
12月末	11,513	0.7	94.8
2024年１月末	11,932	4.4	96.7
２月末	12,259	7.2	97.7
３月末	12,570	10.0	96.7
４月末	12,786	11.9	96.8
５月末	12,894	12.8	96.7
６月末	13,459	17.7	97.4
７月末	12,862	12.5	97.7
８月末	12,497	9.3	96.9
９月末	12,537	9.7	96.8
10月末	13,299	16.3	97.0
11月末	13,204	15.5	98.8
（期　末）2024年12月10日	13,394	17.2	97.8

（注１）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
（注２）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■運用経過

□基準価額等の推移について



第２期首：11,431円
第２期末：13,394円（既払分配金０円）
騰落率：17.2%（分配金再投資ベース）

（注１）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などにより課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

□基準価額の主な変動要因

当ファンドは主に上場投資信託証券（ETF）（以下、総称して「投資先ファンド」といいます。）を通じて、実質的に日本を含む全世界の株式および投資適格債券へ投資しました。基準価額は投資先ファンドの価格変動の影響を受けます。また、実質的に保有する外貨建て資産の一部について為替ヘッジを行っていないため、為替相場の影響も受けます。当期は国内外の株式市場の上昇と為替市場が対米ドルで円安に推移した結果、基準価額は期首の11,431円から13,394円に上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

□投資環境について　（2023年12月12日～2024年12月10日）

＜株式市況＞

主要国の株式市況は、期初は世界的に長期金利が大きく低下したことを受けて、投資家のリスク選好姿勢が強まったことなどから先進国株式市場は大きく上昇しました。2024年以降も米経済のソフトランディング期待や米企業の好決算により上昇基調で推移しました。４月の中東情勢をめぐる地政学リスクの拡大時には一時的に下落するも、米国株は７月中旬まで堅調に推移しました。８月には予想外の経済指標の悪化により米景気後退懸念が高まり、主要国で株式市場は大幅に下落しましたが、その後は良好な米景気指標などを受けて反発上昇しました。11月に入ると次期トランプ政権の経済政策への期待も高まり、米国株は大きく上昇しました。一方、欧州株はトランプ氏の掲げる関税引き上げが欧州及び中国経済に与える悪影響を懸念し、月半ばにかけて下落しました。その後月末にかけてはECBの利下げへの期待などで持ち直す動きとなりました。12月以降は主要国の株式市場は堅調に推移しました。

＜債券市場＞

期初は米国においてはFRBが政策金利を据え置いたことや､雇用やインフレ関連指標が市場予想を下回る結果であったことなどから金利は低下しました。その他の国についても、米金利に連れる形で金利は低下しました。2024年以降は米国では、経済指標が市場予想を上振れたことなどを背景に上昇しました。８月には米雇用統計が予想を下回ると、米景気後退懸念により同国の利下げが早まるとの見方から米金利は大幅に低下し、その他の国も同様に低下しました。11月にはトランプ氏当選直後に米金利は上昇しましたが、次期財務長官指名後は経済政策運営に対する安心感から低下に転じました。欧州中央銀行（ECB）による12月の理事会での追加利下げ期待と、米長期金利の変動等の綱引きとなり、ドイツの長期金利は下落しました。一方、日本の長期金利は、米長期金利の上昇などの影響を受けて上昇しました。

＜為替市場＞

為替市場では円安が進行しました。2024年以降は米国金利の上昇を背景に日米金利差の拡大が意識されたことや、日銀の副総裁がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する見通しと発言したことなどから円安となりました。７月以降は政府日銀による介入観測や、米国金利の大幅な低下により日米金利差の縮小が意識されたことなどから円高となりましたが、10月以降は米国の金利上昇や日銀の利上げを急がない姿勢などを受けて円安が進行しました。

□ポートフォリオについて

当ファンドは、投資先ファンドへの投資を通じて、実質的に日本を含むグローバルの株式および投資適格債券に分散投資（各資産の基本配分は株式40％、債券60％）を行っています。当期は、概ね基本配分に沿うかたちで投資先ファンドへの組入比率を高位に維持しました。

□ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

□分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

＜分配原資の内訳（１万口当り）＞

項目	当期 2023年12月12日～2024年12月10日
当期分配金（税引前）（円）	0
（対基準価額比率）（％）	(0.00)
当期の収益（円）	－
当期の収益以外（円）	－
翌期繰越分配対象額（円）	3,394

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■今後の運用方針

引き続き、投資対象ファンドを通じて、実質的に日本を含むグローバルの株式および投資適格債券に分散投資を行なうことにより、投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。

■１万口当りの費用の明細

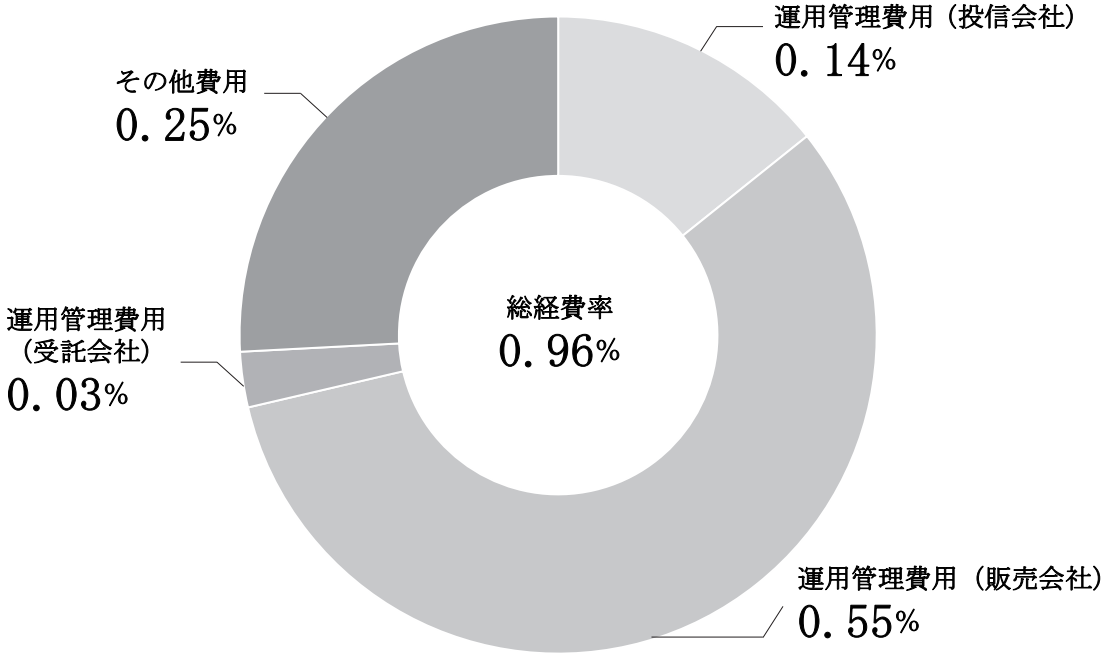
項目	当期（2023.12.12～2024.12.10） 金額（円）	比率（%）	項目の概要
運用管理費用（信託報酬）	**90円**	**0.713%**	運用管理費用（信託報酬）＝当期中の平均基準価額×信託報酬率 **当期中の平均基準価額は12,648円です。**
（投信会社）	（ 17）	（ 0.137）	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	（ 69）	（ 0.548）	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	（ 3）	（ 0.027）	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	**12**	**0.091**	売買委託手数料＝当期中の売買委託手数料／当期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資証券）	（ 12）	（ 0.091）	
有価証券取引税	**－**	**－**	有価証券取引税＝当期中の有価証券取引税／当期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	**31**	**0.248**	その他費用＝当期中のその他費用／当期中の平均受益権口数
（保管費用）	（ 28）	（ 0.222）	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	（ 1）	（ 0.009）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	（ 2）	（ 0.016）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	**133**	**1.052**	

（注１）当期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

（参考情報）

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.96%です。**



（注１）１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2023年12月12日から2024年12月10日まで）

銘柄名		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル
	VANGUARD TOTAL BOND MARKET	0.655	47	－	－
	VANGUARD TOT WORLD STK ETF	0.415	46	－	－
	VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF	1.03	50	－	－

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2023年12月12日から2024年12月10日まで）

当期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

■自社による当ファンドの設定・解約状況（2023年12月12日から2024年12月10日まで）

設定時保有額	当期設定	当期解約	期末残高	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
1	－	－	10	当初設定及び追加設定における取得

（注）金額は元本ベース。

■組入資産明細表

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘柄		当期末			
		口数	評価額		比率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
（アメリカ）		千口	千アメリカ・ドル	千円	%
VANGUARD TOTAL BOND MARKET		1.221	89	13,597	26.7
VANGUARD TOT WORLD STK ETF		1.071	131	19,933	39.1
VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF		2.122	107	16,261	31.9
合計	口数、金額	4.414	328	49,793	
	銘柄数＜比率＞	3銘柄			＜97.8%＞

（注１）邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
（注２）＜　＞は純資産総額に対する各国別投資信託受益証券、投資証券評価額の比率。
（注３）評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月10日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	49,793	97.3
コール・ローン等、その他	1,382	2.7
投資信託財産総額	51,175	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。
（注２）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
　　なお、当期末における邦貨換算レートは、１アメリカ・ドル＝151.54円です。
（注３）当期末における外貨建資産（50,471千円）の投資信託財産総額（51,175千円）に対する比率は、98.6%です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2024年12月10日現在

項　目	当期末
(A) 資産	51,175,402円
コール・ローン等	1,382,230
投資信託受益証券（評価額）	49,793,172
(B) 負債	253,510
未払解約金	97,914
未払信託報酬	153,555
その他未払費用	2,041
(C) 純資産総額（Ａ－Ｂ）	50,921,892
元本	38,018,118
次期繰越損益金	12,903,774
(D) 受益権総口数	38,018,118口
１万口当たり基準価額（Ｃ／Ｄ）	13,394円

（注１）期首における元本額は20,824,130円、当期中における追加設定元本額は24,484,589円、同解約元本額は7,290,601円です。
（注２）当期末の計算口数当りの純資産額は13,394円です。

■損益の状況

当期　自2023年12月12日　至2024年12月10日

項　目	当期
(A) 配当等収益	890,867円
受取配当金	872,153
受取利息	18,714
(B) 有価証券売買損益	4,165,315
売買益	4,475,527
売買損	△ 310,212
(C) 信託報酬等	△ 350,344
(D) 当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	4,705,838
(E) 前期繰越損益金	1,241,745
(F) 追加信託差損益金	6,956,191
（配当等相当額）	(2,329,556)
（売買損益相当額）	(4,626,635)
(G) 合計（Ｄ＋Ｅ＋Ｆ）	12,903,774
次期繰越損益金（Ｇ）	12,903,774
追加信託差損益金	6,956,191
（配当等相当額）	(2,329,556)
（売買損益相当額）	(4,626,635)
分配準備積立金	5,947,583

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「分配金の計算過程」をご参照ください。

分配金の計算過程

項　目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	829,136円
(b) 経費控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益	3,876,702円
(c) 収益調整金	6,956,191円
(d) 分配準備積立金	1,241,745円
(e) 分配対象額（a＋b＋c＋d）	12,903,774円
(f) 分配対象額（１万口当たり）	3,394.11円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金（１万口当たり）	0円

■お知らせ

該当事項はございません。

auAM かんたん投資専用ファンド（債券重視型）

■設定以来の運用実績

決　算　期	基　準　価　額			投資信託受益証券組入比率	純資産総　額
	（分配落）	税引前分配金	期　中騰落率		
（設　定　日）	円	円	%	%	百万円
2022年12月21日	10,000	－	－	－	1
１期（2023年12月11日）	11,196	0	12.0	97.3	17
２期（2024年12月10日）	12,626	0	12.8	97.6	35

（注１）設定日の基準価額は、設定時の価額です。また、期中騰落率は、各期末の基準価額（税引前分配金含む）を設定日の基準価額で除して算出したものです。
（注２）設定日の純資産は、設定元本を表示しております。
（注３）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

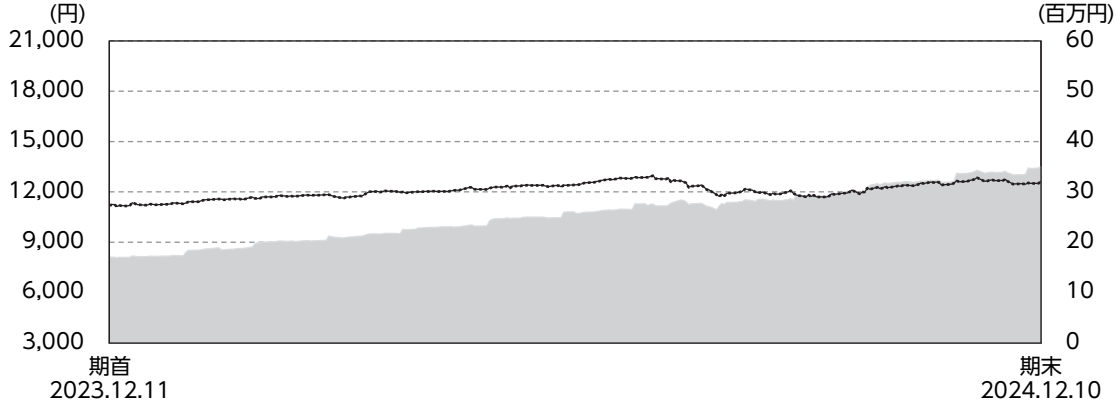
■当期中の基準価額と市況等の推移

年　月　日	基　準　価　額		投資信託受益証券組入比率
		騰落率	
	円	%	%
（期　首）2023年12月11日	11,196	－	97.3
12月末	11,236	0.4	96.1
2024年１月末	11,587	3.5	94.1
２月末	11,808	5.5	96.1
３月末	12,043	7.6	96.3
４月末	12,263	9.5	95.0
５月末	12,315	10.0	95.6
６月末	12,827	14.6	98.7
７月末	12,289	9.8	97.8
８月末	11,889	6.2	95.8
９月末	11,888	6.2	96.6
10月末	12,579	12.4	96.7
11月末	12,471	11.4	96.2
（期　末）2024年12月10日	12,626	12.8	97.6

（注１）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
（注２）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■運用経過

□基準価額等の推移について



第２期首：11,196円
第２期末：12,626円（既払分配金０円）
騰落率：12.8％（分配金再投資ベース）

（注１）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などにより課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

□基準価額の主な変動要因

当ファンドは主に上場投資信託証券（ETF）（以下、総称して「投資先ファンド」といいます。）を通じて、実質的に日本を含む全世界の株式および投資適格債券へ投資しました。基準価額は投資先ファンドの価格変動の影響を受けます。また、実質的に保有する外貨建て資産の一部について為替ヘッジを行っていないため、為替相場の影響も受けます。当期は国内外の株式市場の上昇と為替市場が対米ドルで円安に推移した結果、基準価額は期首の11,196円から12,626円に上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

□投資環境について　（2023年12月12日～2024年12月10日）

＜株式市況＞

主要国の株式市況は、期初は世界的に長期金利が大きく低下したことを受けて、投資家のリスク選好姿勢が強まったことなどから先進国株式市場は大きく上昇しました。2024年以降も米経済のソフトランディング期待や米企業の好決算により上昇基調で推移しました。４月の中東情勢をめぐる地政学リスクの拡大時には一時的に下落するも、米国株は７月中旬まで堅調に推移しました。８月には予想外の経済指標の悪化により米景気後退懸念が高まり、主要国で株式市場は大幅に下落しましたが、その後は良好な米景気指標などを受けて反発上昇しました。11月に入ると次期トランプ政権の経済政策への期待も高まり、米国株は大きく上昇しました。一方、欧州株はトランプ氏の掲げる関税引き上げが欧州及び中国経済に与える悪影響を懸念し、月半ばにかけて下落しました。その後月末にかけてはECBの利下げへの期待などで持ち直す動きとなりました。12月以降は主要国の株式市場は堅調に推移しました。

＜債券市場＞

期初は米国においてはFRBが政策金利を据え置いたことや､雇用やインフレ関連指標が市場予想を下回る結果であったことなどから金利は低下しました。その他の国についても、米金利に連れる形で金利は低下しました。2024年以降は米国では、経済指標が市場予想を上振れたことなどを背景に上昇しました。８月には米雇用統計が予想を下回ると、米景気後退懸念により同国の利下げが早まるとの見方から米金利は大幅に低下し、その他の国も同様に低下しました。11月にはトランプ氏当選直後に米金利は上昇しましたが、次期財務長官指名後は経済政策運営に対する安心感から低下に転じました。欧州中央銀行（ECB）による12月の理事会での追加利下げ期待と、米長期金利の変動等の綱引きとなり、ドイツの長期金利は下落しました。一方、日本の長期金利は、米長期金利の上昇などの影響を受けて上昇しました。

＜為替市場＞

為替市場では円安が進行しました。2024年以降は米国金利の上昇を背景に日米金利差の拡大が意識されたことや、日銀の副総裁がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する見通しと発言したことなどから円安となりました。７月以降は政府日銀による介入観測や、米国金利の大幅な低下により日米金利差の縮小が意識されたことなどから円高となりましたが、10月以降は米国の金利上昇や日銀の利上げを急がない姿勢などを受けて円安が進行しました。

□ポートフォリオについて

当ファンドは、投資先ファンドへの投資を通じて、実質的に日本を含むグローバルの株式および投資適格債券に分散投資（各資産の基本配分は株式20％、債券80％）を行っています。当期は、概ね基本配分に沿うかたちで投資先ファンドへの組入比率を高位に維持しました。

□ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

□分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

＜分配原資の内訳（１万口当り）＞

項目	当期 2023年12月12日～2024年12月10日
当期分配金（税引前）（円）	0
（対基準価額比率）（％）	(0.00)
当期の収益（円）	－
当期の収益以外（円）	－
翌期繰越分配対象額（円）	2,626

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■今後の運用方針

引き続き、投資対象ファンドを通じて、実質的に日本を含むグローバルの株式および投資適格債券に分散投資を行なうことにより、投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。

■１万口当りの費用の明細

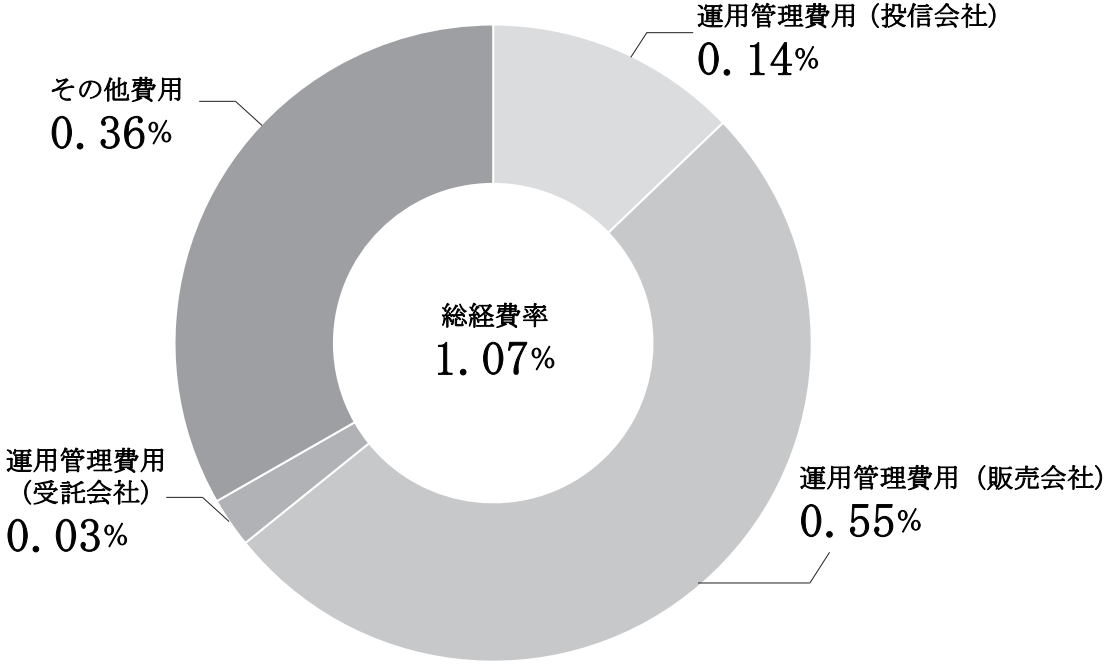
項目	当期（2023.12.12～2024.12.10） 金額（円）	比率（%）	項目の概要
運用管理費用（信託報酬）	**86円**	**0.713%**	運用管理費用（信託報酬）＝当期中の平均基準価額×信託報酬率 **当期中の平均基準価額は12,102円です。**
（投信会社）	（ 17）	（ 0.137）	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	（ 66）	（ 0.548）	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	（ 3）	（ 0.027）	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	**11**	**0.091**	売買委託手数料＝当期中の売買委託手数料／当期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資証券）	（ 11）	（ 0.091）	
有価証券取引税	**－**	**－**	有価証券取引税＝当期中の有価証券取引税／当期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	**43**	**0.355**	その他費用＝当期中のその他費用／当期中の平均受益権口数
（保管費用）	（ 39）	（ 0.322）	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	（ 1）	（ 0.009）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	（ 3）	（ 0.023）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	**140**	**1.159**	

（注１）当期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

（参考情報）

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.07%です。**



（注１）１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2023年12月12日から2024年12月10日まで）

銘柄名		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル
	VANGUARD TOTAL BOND MARKET	0.551	40	－	－
	VANGUARD TOT WORLD STK ETF	0.135	15	－	－
	VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF	0.921	45	－	－

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2023年12月12日から2024年12月10日まで）

当期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

■自社による当ファンドの設定・解約状況（2023年12月12日から2024年12月10日まで）

設定時保有額	当期設定	当期解約	期末残高	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
1	－	－	10	当初設定及び追加設定における取得

（注）金額は元本ベース。

■組入資産明細表

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘柄		当期末			
		口数	評価額		比率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
（アメリカ）		千口	千アメリカ・ドル	千円	%
VANGUARD TOTAL BOND MARKET		1.125	82	12,528	35.7
VANGUARD TOT WORLD STK ETF		0.362	44	6,737	19.2
VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF		1.948	98	14,928	42.6
合計	口数、金額	3.435	225	34,194	
	銘柄数＜比率＞	３銘柄			＜97.6%＞

（注１）邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
（注２）＜　＞は純資産総額に対する各国別投資信託受益証券、投資証券評価額の比率。
（注３）評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月10日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	34,194	97.3
コール・ローン等、その他	959	2.7
投資信託財産総額	35,153	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。
（注２）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
　　なお、当期末における邦貨換算レートは、１アメリカ・ドル＝151.54円です。
（注３）当期末における外貨建資産（34,669千円）の投資信託財産総額（35,153千円）に対する比率は、98.6%です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2024年12月10日現在

項　目	当期末
(A) 資産	35,153,712円
コール・ローン等	959,097
投資信託受益証券（評価額）	34,194,615
(B) 負債	107,186
未払解約金	100
未払信託報酬	105,705
その他未払費用	1,381
(C) 純資産総額（Ａ－Ｂ）	35,046,526
元本	27,756,518
次期繰越損益金	7,290,008
(D) 受益権総口数	27,756,518口
１万口当たり基準価額（Ｃ／Ｄ）	12,626円

（注１）期首における元本額は15,309,635円、当期中における追加設定元本額は16,309,761円、同解約元本額は3,862,878円です。
（注２）当期末の計算口数当りの純資産額は12,626円です。

■損益の状況

当期　自2023年12月12日　至2024年12月10日

項　目	当期
(A) 配当等収益	730,308円
受取配当金	716,583
受取利息	13,725
(B) 有価証券売買損益	2,061,357
売買益	2,125,975
売買損	△　64,618
(C) 信託報酬等	△　270,428
(D) 当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	2,521,237
(E) 前期繰越損益金	947,419
(F) 追加信託差損益金	3,821,352
（配当等相当額）	(　1,612,748)
（売買損益相当額）	(　2,208,604)
(G) 合計（Ｄ＋Ｅ＋Ｆ）	7,290,008
次期繰越損益金（Ｇ）	7,290,008
追加信託差損益金	3,821,352
（配当等相当額）	(　1,612,748)
（売買損益相当額）	(　2,208,604)
分配準備積立金	3,468,656

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「分配金の計算過程」をご参照ください。

分配金の計算過程

項　目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	659,564円
(b) 経費控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益	1,861,673円
(c) 収益調整金	3,821,352円
(d) 分配準備積立金	947,419円
(e) 分配対象額（a＋b＋c＋d）	7,290,008円
(f) 分配対象額（１万口当たり）	2,626.41円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金（１万口当たり）	0円

■お知らせ

該当事項はございません。

当ファンドは、FTSEインターナショナルリミテッド（以下「FTSE」といいます。）、ロンドン証券取引所（以下「LSEG」といいます。）（総称して、以下「ライセンス供与者」といいます。）のいずれによっても、支援、推奨、販売または販売促進するものではありません。ライセンス供与者は、「FTSEグローバル・オールキャップ・インデックス」（以下、「本指数」といいます。）の使用およびいかなる時点における本指数値の利用から生じるいかなる結果に対しても、明示的か黙示的かを問わず、何ら表明や保証を行うものではありません。本指数はFTSEによって編集および計算されます。ライセンス供与者は、本指数の誤りについて何人に対しても責任を負わず（過失の有無を問わず）、かつ本指数の誤りに関して通知する義務を負いません。FTSE®はLSEGの商標であり、FTSEがライセンスに基づき使用しています。

「Bloomberg®」およびブルームバーグ・グローバル総合インデックスは、Bloomberg Finance L. P. および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、auアセットマネジメント株式会社（以下「当社」）による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグは当社とは提携しておらず、また、auAM かんたん投資専用ファンド（株式重視型）／（株式シフト型）／（債券シフト型）／（債券重視型）（以下「当ファンド」）を承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、当ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

＜ご参考＞

■組入投資信託証券の概要

以下は、『auAM かんたん投資専用ファンド（株式重視型）／（株式シフト型）／（債券シフト型）／（債券重視型）』が組み入れている投資信託証券（上場投資信託証券）の状況として、当期末において入手できる直近の情報を掲げております。

	ファンド名	決算日
1	Vanguard Total World Stock Index Fund ETF Shares	2024年10月31日
2	Vanguard Total Bond Market Index Fund ETF Shares	2023年12月29日
3	Vanguard Total International Bond Index Fund ETF Shares	2024年10月31日

Vanguard Total World Stock Index Fund ETF Shares

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用会社	The Vanguard Group, Inc.
実質的な主要投資対象	全世界株式
運用の基本方針	FTSEグローバル・オールキャップ・インデックスに連動する投資成果を目指す。
管理報酬等（年）	0.07%

■組入上位10銘柄

銘柄名	比率
Apple Inc	3.8%
NVIDIA Corp	3.6%
Microsoft Corp	3.5%
Amazon.com Inc	2.0%
Meta Platforms Inc	1.4%
Alphabet Inc	1.2%
Alphabet Inc	1.0%
Broadcom Inc	0.9%
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd	0.9%
Berkshire Hathaway Inc	0.8%

（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）2024年10月31日時点の比率です。

■組入上位10カ国

国・地域	比率
アメリカ	64.7%
日本	5.6%
イギリス	3.4%
中国	2.9%
カナダ	2.7%
インド	2.3%
フランス	2.1%
台湾	2.1%
スイス	1.9%
ドイツ	1.8%

（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）2024年９月30日時点の比率です。

Vanguard Total Bond Market Index Fund ETF Shares

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用会社	The Vanguard Group, Inc.
実質的な主要投資対象	米国債券
運用の基本方針	Bloomberg米国総合債券指数に連動する投資成果を目指す。
管理報酬等（年）	0.03%

■組入上位10銘柄

銘柄名	比率
French Republic Government Bond OAT 02/25/2029	0.4%
Bundesschatzanweisungen 06/18/2026	0.4%
United Kingdom Gilt 01/29/2027	0.4%
Italy Buoni Poliennali Del Tesoro 01/28/2026	0.4%
French Republic Government Bond OAT 05/25/2038	0.3%
French Republic Government Bond OAT 02/25/2027	0.3%
French Republic Government Bond OAT 11/25/2031	0.3%
French Republic Government Bond OAT 11/25/2033	0.2%
French Republic Government Bond OAT 11/25/2030	0.2%
United Kingdom Gilt 06/07/2028	0.2%

（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）2023年12月29日時点の比率です。

Vanguard Total International Bond Index Fund ETF Shares

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用会社	The Vanguard Group, Inc.
実質的な主要投資対象	世界債券
運用の基本方針	Bloomberg（米ドル除く）不動調整RIC基準指数（米ドルヘッジベース）に連動する投資成果を目指す。
管理報酬等（年）	0.07%

■組入上位10銘柄

銘柄名	比率
United States Treasury Note/Bond 02/15/2032	0.5%
United States Treasury Note/Bond 11/15/2031	0.5%
United States Treasury Note/Bond 04/30/2026	0.4%
United States Treasury Note/Bond 08/15/2025	0.4%
United States Treasury Note/Bond 11/15/2032	0.4%
United States Treasury Note/Bond 08/15/2032	0.4%
United States Treasury Note/Bond 08/15/2033	0.4%
United States Treasury Note/Bond 02/15/2033	0.4%
United States Treasury Note/Bond 05/15/2032	0.4%
United States Treasury Note/Bond 08/15/2031	0.4%

（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）2024年10月31日時点の比率です。

■組入上位10カ国

国・地域	比率
日本	12.7%
フランス	12.0%
ドイツ	10.6%
イタリア	7.5%
イギリス	7.3%
カナダ	6.7%
スペイン	5.6%
オーストラリア	3.6%
アメリカ	3.3%
韓国	3.0%

（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）2024年９月30日時点の比率です。